
Motivator

-Composition and Dialogue-

会話と表現のクラスワーク

高橋哲郎



Nan'un-do

はしがき

(本書の特色・方針)

意欲的に学習できるかどうかは、まずは成果への期待が持続できるかにかかっています（期待構造／promising system）。

特に外国語の場合、ふだん使っている母国語の熟達と絶えず比較されてしまうことから、目に見える成果がいち早く欲しくなり、それだけに改善が見られないと意欲も失われてしまうのが実情でしょう。

第二に、言葉は日常的な必然があってこそ身につくもので、日本における外国語教育にはその視点が十分備わっていないと感じています。

情報を収集せざるを得ない場面、意見を交換したくなる設定、そういった工夫が向学心を内側から押し上げてくれます。

最後に見直したいのが想像力を使った発信（imagine-out）による主体性の啓発です。

私自身大学で教鞭をとらせて頂くようになってからも、舞台や放送の脚本を執筆し、作家や演技のワークショップなどを開催してきましたが、若い表現者や製作者に劣らず、学生たちにも「自ら伝えたい」という欲動が潜在しています。シミュレーション学習（ロールプレイ）に有効な会話や関係性の想像は、誰もが日頃から無意識に行なっている行為でもあり、学生たちが主体的に学ぶための鍵を握っています。

本書は、シンプルな例文や基本的な練習を通し、短いスパンで着実な成果が感じられるよう構成されています。

身近な写真を契機に「伝えたい／問いたい」という気持ちを発動させ、必然に応じて文法を復習し、完成された会話を参考にしながらペアワークなどで独自のやり取りを作り上げ、語彙や語法をマスターしていく。そんな流れを念頭に置いています。

写真に端を発する想像会話の作成は、実際の学生生活や、個々に関心のある雑誌記事に及んでもいいでしょう。指示一つで、学習者がそれぞれ教材を持ち寄り、結果的に数冊のテキストに相当する展開性も秘めていると考えます。

この教科書を使用した授業から、より実践的で広がりのある外国語学習へと、成果への期待を繰り上げて行ってもらえれば幸いです。

著者

Motivator

-Composition and Dialogue-

Copyright © 2020

by

Tetsuro Takahashi

All Rights Reserved

No part of this book may be reproduced in any form without written permission
from the authors and Nan'un-do Co., Ltd.

使い方 (構成)

学習する文法事項と、テーマを含む会話が生まれる場面(設定)がユニットのタイトルになっています。解答は学習者同士でチェックし合うほか、別紙に記入、ないし教科書ごと教員に提出することも可能です。英作文についても、原則的には資料の模範解答(複数)を紹介、添削はグループごとに精査され提出されたものに対して行なうと良いでしょう。

●各ユニットの1ページ目 (picture)

学生にとって理解しやすい(作りやすい)文章を想起させる写真を掲載してあります。写真下の例文に従い、描写文を作ってください。その際、写真の目の付け所や簡単なストーリー(3ページ目の会話はその例)を話し合うなどすると作成が捗るでしょう。

●2ページ目 (grammar)

1ページ目の英作文に必要な文法がまとめられています。左右のページを往復しながら学習することもできます。簡素な説明と最小限の例文(練習問題)から成っており、使いやすく理解もしやすいですが、問題を適宜追加して頂いても構いません。

●3ページ目 (dialogue)

具体的な設定と人物から成る英語会話が掲載されています。1ページ目の写真の描写文とそれを聞き出す質問文とのセットをまず作り、人間関係や会話の目的を明らかにしてから、語句や流れの理解に進んでください。またキーワードやキーセンテンスを意識しながら音読することで、やり取りの呼吸なども感得できます。

●4ページ目 (create a dialogue)

最終段階として、ペアになりオリジナルの会話を創作してもらいます。短い英文をいくつか作り組み合わせることをゴールとし、達成感を多く味わうことを優先させます。ただ出来上がった会話文については、何回か読み合わせ、発音・語順・切り方・強弱・目線の5項目について客観的に評価し合うことをお勧めします。複数の学生に同時に、また主体的に参加してもらえる練習の記録であり、成績の作成に直結させられるページです。

Contents

Unit 1	動詞と語順▶印象を話す	06
Unit 2	補語と目的語▶スケジュールを知る	10
Unit 3	疑問文の作り方▶問題を述べる	14
Unit 4	疑問文に替える▶状況を知り合う	18
Unit 5	助動詞▶アドバイスをもらう	22
Unit 6	疑問詞の文の作り方▶仕事について	26
Unit 7	疑問詞の文2▶旅行について	30
Unit 8	完了形と仮定法▶人を紹介する	34
Unit 9	進行形と受動態▶場所を案内する	38
Unit 10	分詞・動名詞・不定詞▶予定をすり合わせる	42
Unit 11	接続詞と関係詞▶イベントの詳細を知る	46
Unit 12	第4・第5文型▶不安を取り除く	50

動詞と語順

印象を話す

- 以下の写真の描写文の空所に、下の語群から適語を選んで（必要なら形を変えて）補充しましょう。
動詞を重視



写真A

- ① They _____ students.
- ② One of the boys is _____ a white T-shirt.
- ③ They _____ down the steps.
- ④ They _____ to each other.
- ⑤ The leaves on the trees _____ green.



写真B

- ① Three cups _____ on the table.
- ② The cups _____ different colors.
- ③ One girl _____ a photo of them.
- ④ They _____ themselves on a smart phone.
- ⑤ They don't _____, but they smile.

語群

状態：am, are, is

動作：go, take, talk, watch, wear, have

Grammar (動詞の種類)

英文ではS(主語 subject)のあとに、状態 (be 動詞) や動作 (一般動詞) を表す語句 V(動詞 verb) が来ます。

●状態 (be 動詞)

I **am** from Kyoto.He **is** a baseball player.They **are** happy to be here.

動作無しで成立する英文における動詞を「be 動詞」といい、単数が複数により **am/is/are** を使い分けます。

●動作 (一般動詞)

I **run** around the park every morning.She **watches** TV after studying.Students **think** of their future.

上記の文は、主語の身体の一部もしくは全部が動いています (have, know など例外もあります)。

このように「動作」を表す動詞を「一般動詞」といい、Sが単数のときは末尾に **-s/-es** をつけます。

●過去形

過去の状態・動作を表す場合、be 動詞は was/were、一般動詞は末尾に d/ed/ied をつけて用います (不規則に変化するものもあります)。() 内の動詞を適切な形に直し、空所を補充しましょう。

- ① He _____ a football player before. (be)
- ② They _____ surprised to hear the news yesterday. (be)
- ③ She _____ a movie last night. (watch)
- ④ I _____ a letter and posted it last week. (write)

●否定

be 動詞は後ろに not、一般動詞は前に don't/doesn't/didn't を入れます。補充しましょう。

- ① I _____ from Tokyo.
- ② My sister _____ eat breakfast.
- ③ The children _____ know the end of the story.

▶ be 動詞の英文を自由に作ってみましょう。

Dialogue

●設定

関係：新入生同士

目的：学校の印象を話し合う

●会話例 (空所に適文を選んで記号を入れなさい)

On campus, on the first day of the term;

YOU: I walked around the campus yesterday.

YOUR FRIEND: Me too. (1)

YOU: It has many buildings, doesn't it?

YOUR FRIEND: Yes.

YOU: The campus is large. I need to use a map for now.

YOU: I almost got lost, even with a map.

YOUR FRIEND: (2)

YOU: I found a cafeteria yesterday, though.

YOU: Really? I didn't find it.

YOUR FRIEND: I didn't go inside. (3)

YOU: I see. The buildings here are clean.

YOUR FRIEND: Students love the new, modern buildings.

YOU: My high school was rather old and not very clean.

YOUR FRIEND: Mine was also old and there was no cafeteria.

YOU: I'm dreaming of going there some day.

YOUR FRIEND: Dream? Some day? You are a student here.

YOU: This bicycle parking lot feels familiar.

YOUR FRIEND: (4)

YOU: It's old and dirty! Maybe that's why we feel comfortable and can speak so freely.

YOUR FRIEND: You're right.

- ① It was too clean for me.
- ② I want to know more about my university.
- ③ Yes, it's an old place.
- ④ We don't have a sense of direction.

Ⓐ キーワードやキーセンテンスを指摘しましょう。

Ⓑ 補充された会話を聞いた上で、上記の会話例をペアで音読してみましょう。

Create a dialogue

今までの作業を踏まえ、ペアになってオリジナルの会話を作成しましょう (提出は別紙を使用してもいい)。

Ⓐ p1 を参考に「学校の印象を描写する」英文を3つ作成しましょう。

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

Ⓑ p2 を参考に「相手の印象を聴き出す」英文を3つ作成しましょう。

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

Ⓒ 上記の英文を組み合わせた会話原稿を音読してみましょう。

Ⓓ 第三者に聞いてもらい、感想を自己評価の参考にしましょう (各項2点満点、他の項目を加えてもいい)。

- | | | | |
|-----------|---|----|-----------|
| ①発音、アクセント | (| 点) | |
| ②語順、文法 | (| 点) | |
| ③切り方 | (| 点) | |
| ④強弱 | (| 点) | |
| ⑤目線 | (| 点) | (合計 /10点) |

Ⓔ 印象を話す際に使われる語句をリストアップしましょう (オリジナル作成時に用いた語句も追加)。

- ① be far from having ~ : ~なんてありそうにない
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____

補語と目的語

スケジュールを知る

●動詞の補充

A 写真の人物の一日について想像し、下の語群から適切なものを選んで空所を補いましょう。



- ① I _____ a high school student.
 ② I _____ far from my school, so I get up at 6:00 and leave without eating enough breakfast.
 ③ I _____ a bus to the nearest station, and _____ a train from there.
 ④ The first class _____ at 8:40.
 ⑤ I _____ four classes in the morning.
 ⑥ I _____ sleepy in the morning.
 ⑦ My lunch break _____ from 12:40 to 13:30.
 ⑧ I _____ lacrosse after school as a club activity.
 ⑨ I _____ home at 20:00, and sometimes have a light meal before I leave.
 ⑩ I _____ to study at 21:00.
 ⑪ At around 22:00, I _____ for the tomorrow's classes, and take a bath.

⑫ I usually _____ to music or browse the internet before going to bed at 23:00

語群

return, begin, am, live, have, take, prepare, listen, is, begins, are, play

Grammar (補語と目的語)

●英語の文章はSVのあと、補語C(Sの補足)や目的語O(Vの目的)が続く場合があります。

She is **relaxing**.

People study **English**.

●副詞句が、時や場など「詳しい情報」を追加します。

She is relaxing **with her friends**.

People study English **at school**.

●SVそれぞれに形容詞や副詞などの、修飾語句がついて、前後から説明を追加します。

Usually, Japanese people study English **in high school**.

●補語と目的語

A SV後の補語または目的語を「自由に」補充して、意味の通る文にしましょう。

- ① She is _____
 ② She has _____
 ③ They are _____
 ④ My brother eats _____

Bそれぞれ選んで下の欄に英文を作りましょう。

主語群 My father, The runner, His classmates, The musician, The artists, The manager, Children

動詞群(状態) is, are

補語群 sad, careful, careless, cheerful, curious, a driver, a salesperson, Korean, American

動詞群(動作) learns, wears, gets, paints, plays, opens, hires

目的語群 a jersey, the award, a staff, dodgeball, history, a picture, the window

副詞群(時) in the morning, this time, usually, tonight, today, at last, this afternoon

副詞群(場) in the hall, in my house, here, on the ground, in the studio, around the park, at school